



みちづくし in 阿蘇 2022 実施報告

■主催：みちづくし in 阿蘇2022実行委員会

■共催：道守九州会議、国土交通省九州地方整備局、熊本県、阿蘇市、南阿蘇村、一般社団法人九州地域づくり協会

■後援：熊本県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、熊本市、九州風景街道推進会議、九州・沖縄「道の駅」連絡会

◎この事業の一部は、（一社）九州地域づくり協会の助成金を受けて実施しました。



九州各県の道守が3年ぶりに大集結！

令和4年10月28日から10月29日の2日間にわたり熊本県阿蘇市で開催された「みちづくし in 阿蘇 2022」は、九州各県から419名の道守さんや関係者が阿蘇市に集結しました。

今回のみちづくしのテーマは、
阿蘇からのチャレンジ 復興九州

～パワフルな風を届けよう～

平成28年に熊本地震で被災し、インフラ復旧が進み、復興にチャレンジする阿蘇の地で、活力ある、災害に強い九州実現のために道守活動がどのような貢献できるかを議論しました。



会場の様子

<主催者挨拶・来賓挨拶>

道守九州会議代表世話人で実行委員長である榎木武の主催者挨拶から始まり、来賓の田嶋徹熊本県副知事、佐藤義興阿蘇市長、藤巻浩之九州地方整備局長より挨拶をいただきました。



榎木実行委員長



阿蘇市 佐藤市長

<功労者表彰・感謝状贈呈>

長年にわたり道守活動を九州各地で続けられてきた8名・団体の道守さんが功労者として表彰され、また、道守活動に貢献・支援が認められる1団体に感謝状と記念品が道守九州会議榎木武代表世話人より手渡されました。

功労者表彰 受賞者

- 道守ふくおか会議 吉本 保氏
- 道守ふくおか会議 道守うきはネットワーク
- 道守佐賀会議 吉浦啓一郎氏
- 道守長崎会議 牧 圭子氏
- 道守くまもと会議 南小国町ボランティア行動隊
- 道守大分会議 大分マリノア水族館「うみたまご」
- 道守みやざき会議 株式会社 宮崎産業開発
- 道守かごしま会議 坂口 るみ氏

感謝状 受賞者

- 阿蘇の未知を考える女性の会



記念撮影

<フロアミーティングへのアプローチ>

道守九州会議の副代表世話人であり、九州大学教授の塚原健一氏を迎え、「平常時と災害時の地域の強靱性 -交通ネットワークの重要性と事例-」と題して基調講演を行っていただき、また、行政側からは、阿蘇からの報告として辻九州地方整備局統括防災官「国土交通省が果たした役割」、秦阿蘇市観光課長「熊本地震からの復興、行政の取り組みと住民の協力」と題して報告があり、参加者は熱心に聞き入っていました。



九州大学 塚原教授

<フロアミーティング>

道守九州会議 副代表世話人の塚原健一氏をファシリテーターとして、前半は災害時や復興過程での道守活動事例を紹介し、後半ではこれからの道守や道の駅の果たす役割について議論を行いました。

最後に地域づくりや道守活動に精通された道守大分会議代表世話人の桑野和泉氏、道守くまもと会議世話人の阿南誠志氏のお二人にコメントを頂きました。



活動報告の様子



桑野氏の感想



阿南氏の感想

<交流集会>

交流会後、大庭照子さんコンサートと横堀岩戸神楽で郷土芸能を堪能したあと、佐藤阿蘇市長のアカペラで歓迎の挨拶があり、3年ぶりの交流集会がスタートしました。毎年恒例の道守屋台も復活し、各県自慢のお酒などが振る舞われ、参加者を楽しませていました。



大庭照子さんの美声



迫力ある横堀岩戸神楽



道守ながさき



道守くまもと

<大会旗授与>

大会宣言を経て、最後に次回開催地へ大会旗を受け渡し、交流集会に幕を閉じました。

次回開催地は大分 県の竹田市です。土居竹田市長から「荒城の月」をご披露いただき、開催に向けた力強いお言葉がありました。



大会宣言

みちづくし in 阿蘇 2022

大会実行委員長
樽木 武

- 1 私たち道守は、互いの絆を強めます
- 2 私たち道守は、活動の安全安心に努めます
- 3 私たち道守は、道の駅、風景街道、そして行政との協働を推進します
- 4 私たち道守は、地域復興に貢献します
- 5 私たち道守は、全力で新時代を切り開きます

みちづくし in 阿蘇 2022現地体験学習

2日目の現地体験学習は快晴のもと、137名の方々が参加。まず、4台のバスに搭乗しそれぞれのコースに出発しました。

やまなみ滝室坂コース

やまなみ滝室坂コースでは、阿蘇九重のやまなみハイウェイの景色を楽しみ、現在工事中の滝室坂トンネルの坑内では、工事方法の説明を受け、復興に寄与する未来の道路を見学しました。最後は道の駅でお土産の買い物を楽しみました。



道の駅 阿蘇



工事方法の説明



今回の舞台となった、阿蘇エリアを説明するパンフレット全3編
(九州地域づくり協会作成)



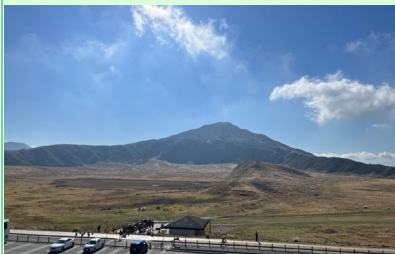
トンネル坑内での記念撮影

南阿蘇インフラ復興コース

熊本地震で被災を受けたインフラを巡るコースは、交流の起点となる道の駅阿蘇を出発し、火山博物館で阿蘇の成り立ちを学び、震災ミュージアムでは、改めて熊本地震の記憶が蘇り、復旧された数鹿流崩れ、新阿蘇大橋、今後の防災に寄与する立野ダム工事現場では、規模大きさに圧倒されました。



元東海大学キャンパス前での記念撮影



阿蘇草千里



阿蘇の地形について



数鹿流崩れ・新阿蘇大橋の施工説明



震災ミュージアムボランティアガイド説明



施工中の立野ダム



立野ダムプラント